

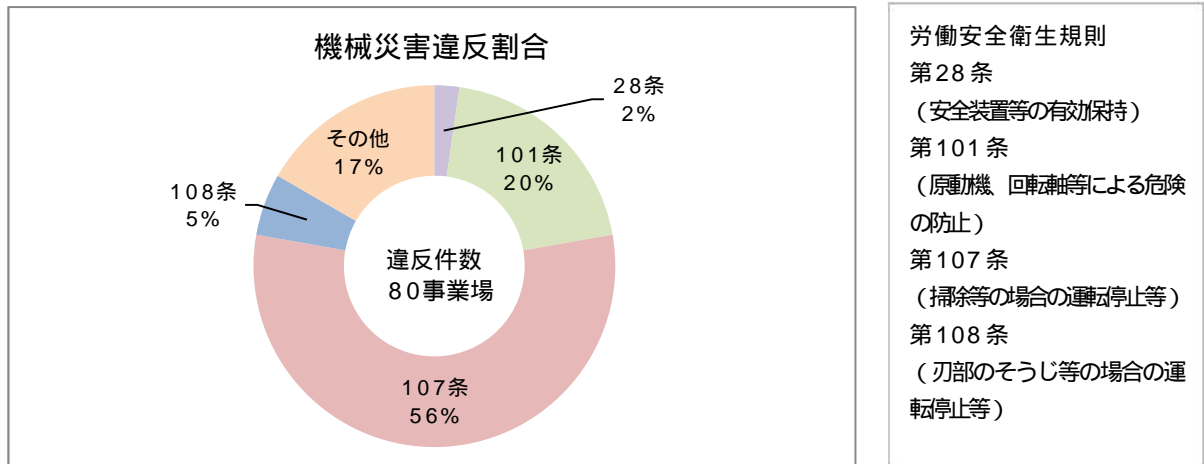
# 平成30年度三重労働局機械災害防止対策結果

出資：機械災害調査付表  
対象：125件

## 1 法令違反条文別

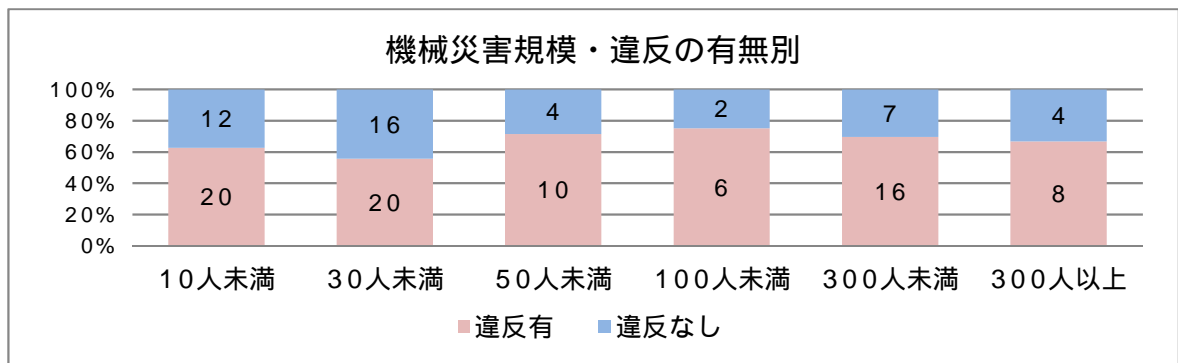
機械災害発生事業場に対する個別指導、災害時監督等を実施した125事業場のうち、80事業場において法令違反が認められた。

法令違反の半数以上の56%が労働安全衛生規則107条（掃除等の場合の運転停止等）違反であった。



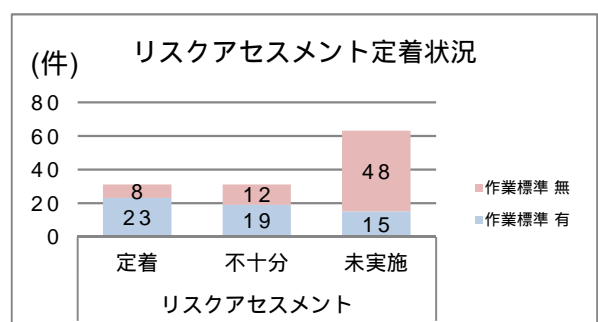
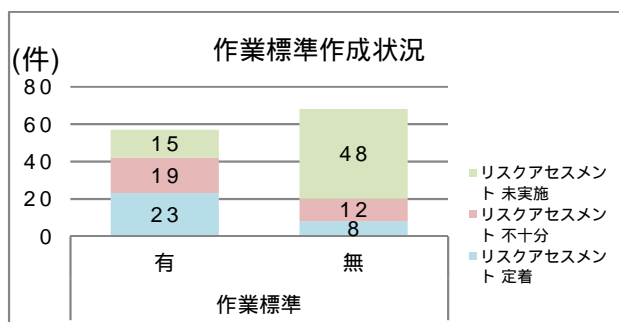
## 2 法令違反の有無、事業場規模別

機械災害が発生した全ての規模の事業場で法令違反率は55%を超え、特に50人以上100人未満の事業場で75%と高くなっている。

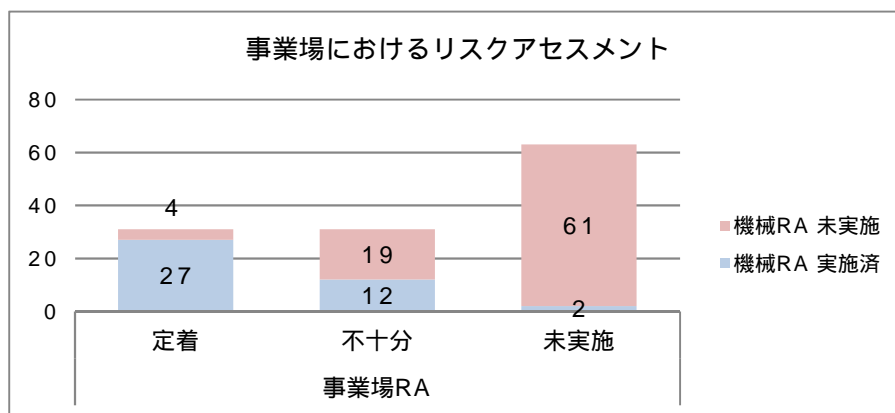


## 3 作業標準の有無、リスクアセスメントの実施状況等別

機械災害が発生した事業場においては、リスクアセスメントの未実施が半数を超え、55%の事業場において作業標準が作成されていない。

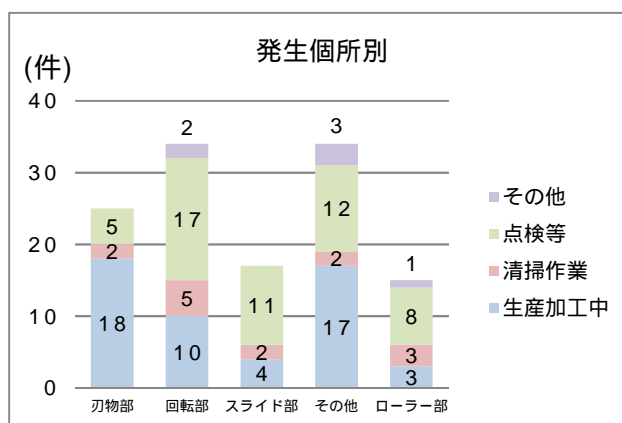
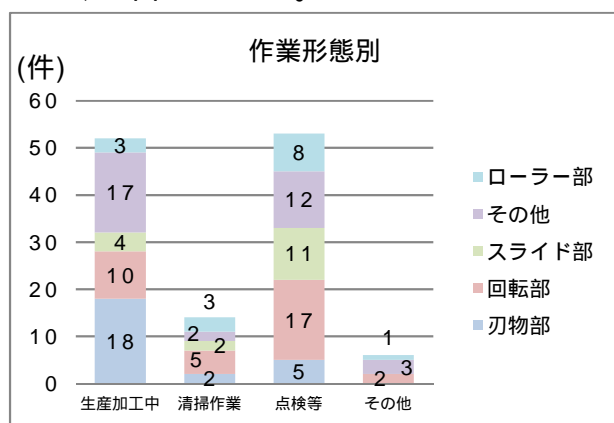


事業場におけるリスクアセスメントが定着しているとする事業においても13%が災害の発生した機械にかかるリスクアセスメントが未実施であり、リスクアセスメントが不十分な事業場では61%が災害の発生した機械に係るリスクアセスメントが未実施である。



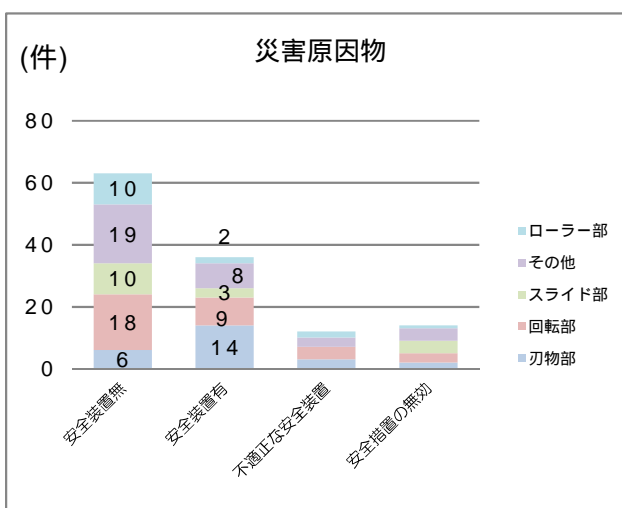
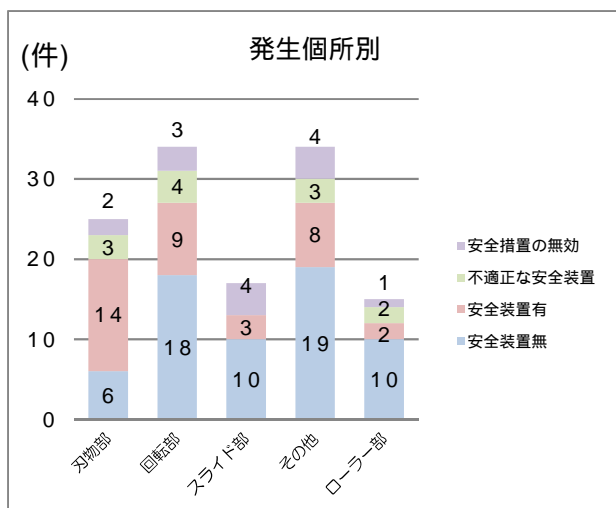
#### 4 作業形態、発生個所別

作業形態別では、点検作業中によるものが42%と最も多く発生している。発生個所別では、生産加工中は刃物部が35%、点検等では回転部が32%と多くを占めている。



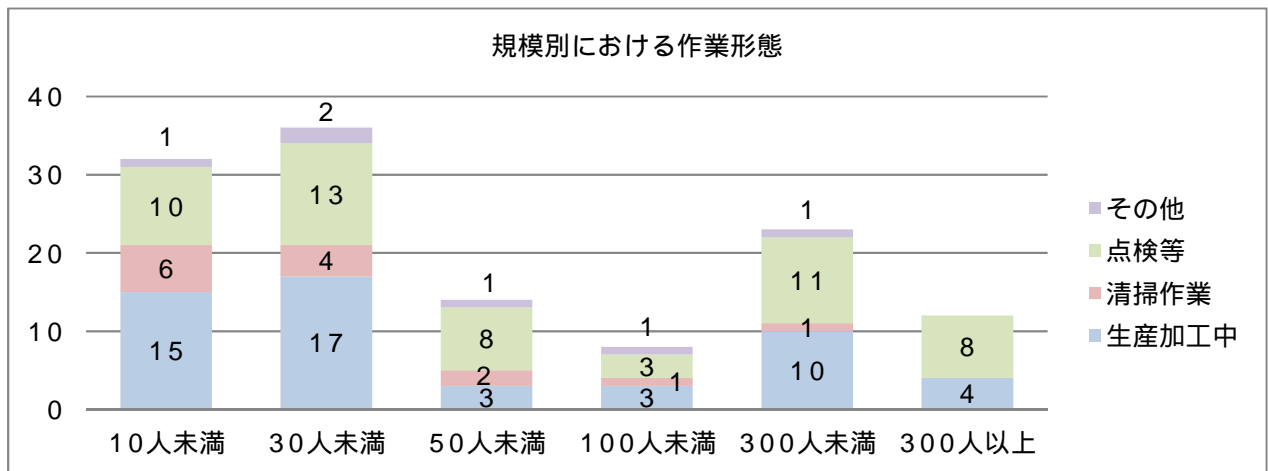
#### 5 発生個所、災害原因別

安全装置無が全体の半数を占めている。発生個所は回転部によるものが最も多い。



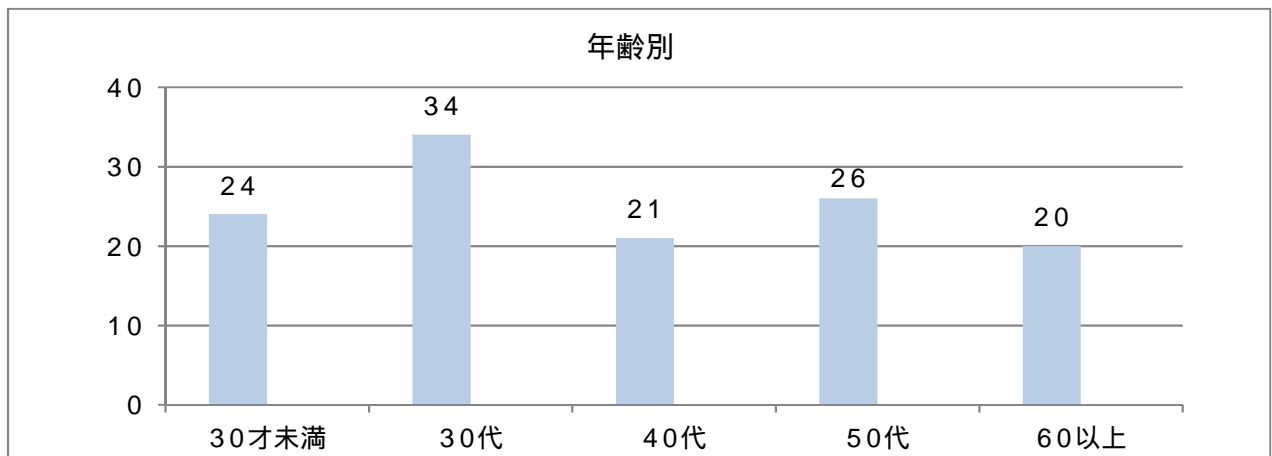
## 6 事業場規模、作業形態別

全ての規模において、点検作業中の災害が多く、30人未満においては生産加工中の災害も多くなっている。



## 7 年齢別

30才代が27%で最も多く、30才代までが46%と半数近くを占めている。



## 8 年齢、経験年数別

50代までは経験年数の浅い5年未満が多くを占めている。しかし、60才以上では経験年数はさまざまであるが、30年以上のベテランが比較的多くなっている。

